

## 2学期の始業式にあたって

学校長

短い夏休みとなりましたが、大きな事故や怪我もなく、みんなで元気に2学期のスタートを切れることを嬉しく思います。それぞれが進路補習や実習、部活動などに熱心に取り組みながら、時間の使い方を自分自身で考え、時間を大切に充実した日々を過ごしてくれたと思っています。コロナ感染もさることながら、まだまだ厳しい暑さが続きますが、どうせやるからには、だれることなく前向きに頑張りましょう。

さて、今年はコロナ感染症拡大防止の観点から、全国インターハイや高校野球など、あらゆる大会やイベントが中止となり、三年生にとっては本当に可哀想な年となりましたが、今から6年前の平成27年の夏、全国インターハイバスケットボール競技大会が西京極ハンナリースアリーナで開催され、私も実行委員会の一人として大会をサポートしました。大会は、もの凄い盛り上がりを見せ会場の熱気は今でも鮮明に覚えています。そんな中、男子は見事に宮城県明成高校が優勝し、MVPに輝いたのが、あの八村塁選手でした。優勝後に「これからも怪我をしないように頑張るね・・・ありがとうございます」と握手を交わした八村選手、あれから6年余り、歴史的なNBAドラフト1巡目に指名され、今やNBAの中心選手として大活躍されています。全国インターハイでは飛びぬけた選手でしたが今でも信じられません。恐らくアメリカに渡ってから誰にもマネが出来ない程の練習と努力をされたことは間違いないと思います。けれども八村選手の素晴しさは、技術の高さよりもやはりその人間性だと思っています。みなさんは、NBAのドラフト1巡目に指名された直後の八村選手のインタビューを覚えていますか？その時、八村選手が話された内容は、その殆どが中学や高校時代の恩師やコーチ、そしてチームメイト、仲間に対する感謝の気持ちでした。ドラフト指名に至るまでの自分の努力や頑張りには一言も触れることなく、周りの支えやサポートがあって、今の自分があると話されていました。当時、その謙虚さに感心し感動したこと、また改めて良い指導者、良い仲間との出会いがあってこそ、花開く才能があると確信したことを覚えています。

思い起こすと、八村選手のみならず、エンゼルスの大谷選手や、卓球の伊藤選手や張本選手、バドミントンの桃田選手、そしてリアルに加入した久保選手らに対して「あり得ない」「まさか」という言葉を自分は使ったように思います。みんなと同世代の若い彼らが、世界の頂点をマジで目指し努力し挑戦して、夢を叶えられたことに対して、その本気の努力に対して、本当に失礼な言葉であったと反省しています。

振り返れば、7月24日はスポーツの日の祝日、東京オリンピック開会式が行われ、8月9日には閉会式、来週25日からはパラリンピックの開幕予定でした。桃田選手など多くの若い選手たちのメダル獲得に日本中が歓喜に包まれていたと思うと残念でありませんが、恐らく選手のみなさんは決してあきらめることなく、来年の開幕を目指して今も懸命に努力されていると思います。ただ、世界を目指すことだけがチャレンジではないし、どんな小さなことでも今までやっていなかったことを始めてみることに挑戦すること、そのすべてがチャレンジだと思っています。みなさんも、コロナに翻弄されることなく、何かにチャレンジする気持ちだけは忘れずに、この2学期も取り組んで欲しいと思います。特に三年生、自分の夢や目標に近づくために妥協することなく自らの進路実現を目指してやり切ってください。

まだまだ厳しい暑さが続きますが、文化祭も近づいてきました。すべてが、例年通りのようにはいきません。承知のとおり、コロナの感染状況は依然として厳しく、他県の高校や大学の部活動では大規模なクラスターも発生しており、引き続き、緊張感をもって感染予防に努める必要があります。今年の文化祭は、みんなの想いを大切にするため、先生方も懸命に文化祭のあり方を検討し実施することとなりました。今後の活動準備や練習に当たっては、様々な制約や約束事項があると思いますが、先生方の指示をしっかりと受け止めて、対応し行動してください。そして非常に限られた条件の中ですが、やり切った感のもてる文化祭となるよう願っています。生徒会や各種委員会からの協力や仲間への指示にも期待しています。宜しくお願いします。

最後になりますが、本校においても教職員、生徒の感染が発生しないとは限りません。その場合には、臨時休校等の緊急措置が必要となる場合があります。その際には、プライバシー保護の観点から、スタディサブリのメッセージ機能を通じて詳細な連絡を行いますので、あらかじめ確認しておいてください。引き続き、マスク等の着用を含めてみんなで感染予防に努めながら、2学期も頑張りましょう。